

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

## 都市間競争の見方について

「都市間競争」という言葉が自治体用語として、行政が発行する文書にたびたび出てくるようになってきました。町田市においても市長の「施政方針」、あるいは「まちだシティプロモーション基本方針」などにも、「都市間競争」、「競争の時代」、「競争力」という用語が多用されています。

市長の施政方針の冒頭には「今、世界は大きな競争の時代を迎えています。これまで町田市を含む東京圏は高い競争力を維持してきました。しかし近年、シンガポールや上海などのアジアの都市が急速に力を付け、東京を脅かす存在になっています」としています。

「一見、その通りかな」と思われる面がありそうですが、町田市民や多摩地域の住民の多くは、「東京」と言っても「区部」と「都下」ではその基盤整備の基本方針が大きく異なっており、その格差を解消するのが政治の役割ではないかと思っておられることでしょう。

23 区部では都営の交通機関である地下鉄をはじめとする鉄道やバスが大きな役割を担っており、町田市においてはそれらの存在は皆無です。そうした現実をさておいて、東京圏を一律に考える発想は政治の立場では、その格差を永久的に容認するスタンスとみて差し支えないでしょう。あるいは政治家がそうした見地に立つのであれば、逆に、都市間競争と言う意識を避けるものであり、地元政治家として役割放棄と考えるものです。これでは、多摩地域は区部に対して何時までも、どの分野でも行政施策が劣っていても構わない、という敗者、弱者の思想と言っても過言でないのではないでしょうか。



## 東京の競争相手はどこか

そもそもシンガポールは、東京のように国家の首都と言う存在でなく、独立した国家そのものであり、上海は国家の首都ではありません。その意味で、この3者には政治上において、共通点より相違点の方が目立つわけです。それにも拘わらず、こうした比較を行おうというのは、その意味付けが不明確であるということになります。確かに、国際金融センターと言う位置づけでは、「ロンドン、ニューヨーク、香港の常連3都市が上位を占め、シンガポールは4位にランクインしている。前回5位だった東京は、上海に逆転され6位」(ウォール・ストリート・ジャーナル/日本リアルタイム)とされています。これは都市政策と言うよりも、世界における日本国家全体の経済力や経済・金融施策の在り方にかかわることではないでしょうか。

東京が比較されるべき都市とは、ロンドン・パリ・ベルリン・モスクワなどであり、アジアでは北京やソウルでしょう。確かに、その北京やソウルが近年において大きな成長を遂げているのは間違いのないことであり、本来は競争の協調の相手を見極めることが重要だと思います。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

# 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 放射線量測定活動について

東日本大震災に伴う福島第 1 原発の爆発事故以来、その放射性物質の飛散に関して、身近の地域において、空中放射線量の測定を継続して私は実施してきています。当初は、町田市民有志の方が測定したものを私のHPにアップする方法でしたが、途中からは私が測定したものを自分のブログにアップし、さらにそれを「町田市の放射線量を測定等する有志の会」に情報提供し、そのHPにまとめて掲載してもらおう方法で現在に至り、情報を広く公開することで定評を得ています。

下記の数値は、私が自分の測定機を使用して、週に 2 度測定している JR 横浜線成瀬駅の直近の測定結果です。

.....  
測定日 6/5 (水) 14:30 ~14:35 成瀬駅南口

◎ 0.10~0.17/5cm ◎ 0.08~0.13/1m

測定日 6/5 (水) 14:20 ~14:25 成瀬駅北口

◎ 0.08~0.14/5cm ◎ 0.04~0.08/1m

天候はいずれも晴れ、単位はマイクロシーベルト/時、地上 5cm と 1m で測定。

.....  
その他、町田市リサイクルセンター周辺と町田市に隣接する多摩清掃工場周辺も月に一度の測定を継続しています。



## 小田急多摩線延伸と自治体

住民要望と政治の達成度は大きな開きがあるものです。しかし、政治はどのような目立たない要望であっても、それをくみ取り、表舞台に出して物事を進展させるものだと思います。

町田市西部方面(小山田エリアなど)では、小田急多摩線が唐木田駅から延伸し、横浜線相模原駅及び JR 相模線の上溝駅方面と結ぶ話題が起きています。この話自体は、相模原市内の方がより現実的な課題になっており、今後、国が田名地域まで延伸するとの諮問を行うことになっています。地域の運動はさらに広がっており、この田名地区から愛川町を通り、厚木市に至る路線の延伸を求める運動が始まりました。



＜田名地域への延伸を求める自治会看板＞

自分が交通機関に恵まれた地域に住んでいると、交通事情が悪い地域の人たちの生活はなかなか想像し難いのですが、これらの地域では自治体や商工団体あげてその運動に参加しています。町田市の行政の腰は重いのですが、基礎自治体の議員がその運動が実を結ぶよう連携しており、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」には、こうした新たな地域の議員がこぞって参加しています。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)